



東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「よく学び よく遊べ」

令和4年6月14日

NO. 12

校長 白水 聡

## 米づくりの体験学習 5年生



6月10日、5年生の総合的な学習「米づくりを成功させよう」にゲストティーチャーをお招きして、ご指導いただきました。JAながさき県営農指導員の田崎 航さんです。

この日は、一年間の米づくりの流れと田植えの方法について教えていただきました。17日に予定されている田植え体験に向けて、苗を7～8本に分ける練習を実際にやってみながら説明していただきました。子どもたちも興味をもって生き生きと取り組んでいました。

地域の方々のおかげで、有意義な体験活動ができています。お忙しい中ありがとうございました！またよろしくお願ひします。

## 可愛い訪問者

1年生は、生活科の学習「学校の人と話してみよう。」で先生方と交流を深めています。先日は3～4人のグループに分かれて、校長室や職員室などを訪問していました。

私もインタビューを受け、いろんな質問に答えましたが、「いつもどんな仕事をしているのですか？」という質問には、「うーん・・・。」となってしまいました。改めて自分の行いを振り返らされた瞬間でした。(笑)

どの子も礼儀正しく入室し、お礼をきちんと行って帰って行きました。実り多い大切な学習だと感じました。



## あいさつと名札

朝から校門に立っていますと、いろんな子とあいさつを交わします。自分から進んであいさつをする子もいれば、そうではない子もいます。中には立ち止まって「おはようございます！」とワンストップあいさつを実行している人もいますので、「いいあいさつです！」と認めるとともに、つついジャンケンしたくなります。本当にこちら元気をもらう瞬間です。

「あいさつは心と心のキャッチボール」という言葉があります。相手に伝わるように届けることは、気持ちのよい生活につながるものと思います。「自分から先に」や「投げられたらしっかり返そう」という指導を学校でも続けますので、ぜひご家庭でも、あいさつの励行について躡けていただければと思います。

また、名札をきちんとつけている子も感心です。最近では、針穴が空かない工夫やひっくり返して不審者対策になる付属品もあるようで、時代のギャップを感じてしまいます。(笑)

名札の着用は学校のきまりの一つですので、それを守るというのは「凡事徹底」「あたり前のことを、あたり前にできる」という言葉のように大切だと考えます。一声かけてください。

あいさつと名札の着用は、「不易」とも言える、心を育てる教育ではないでしょうか。